

あさくらっこおめでとう



川波 莉緒ちゃん
令和6年2月18日生(甘木)



上田 倫久ちゃん
令和5年2月17日生(甘木)



小嶋 太陽ちゃん
令和5年2月28日生(柿原)



中井 奏那ちゃん
令和4年2月17日生(板屋)

申込期間 3月生まれ(3月号)の申込は
2月7日(金)まで

申込条件 満1〜3歳の子どもが対象。定員18人
(先着順)。申込多数の場合、満1歳の子どもを優先して掲載します。

申込方法



▲こちらから
簡単申込

- ①メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・連絡先(保護者氏名)を明記。送信後、**市人事秘書課(☎22-1117/平日8時30分〜17時15分)へ電話**してください。
- ②来庁
写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所市民窓口係(1階)へ**(USBメモリ不可)**。

前向き子育て定期便

皆さんの子育てが少しでも楽しくなるように子育てケアアップを支援する「前向き子育て応援」。誰だって子育て中は迷い悩めます。「なぜ?片づけない?」「なぜ?食べない?」「なぜ?下の子に意地悪する?」そんな日常の「なぜ?なぜ?」に、前向き子育てで「なるほど、そういうこと」と小さなスッキリ。前向き子育てプログラムの具体的な内容を定期的にお届けしていきます。

☎市子ども未来課(☎28-7568)



▲定期便は市HPでも詳しく掲載

子どもを退屈にさせない

子どもにとって何もすることがなければ、親の買い物はいつまでも続くように感じられ退屈です。そのような状況では子どもは問題行動を起こしがちです。例えば「勝手に商品を触る」「店内を走り回る」「親の目の届かないところへ行く」「かんしゃくをおこす」「何かを買うことを要求する」などがあります。そうすると、親は買い物が負担になり、子どもを買い物に連れていくことを避けたい気持ちになります。

しかし、子どもを買い物に連れていくことを避け続けると、子どもが適切な行動を学ぶ機会が減るため問題は続きます。大変さが予測される状況には、前もって備えることで問題を小さくする、または回避することができます。ポイントは、子どもが楽しく集中できるものを準備することです。

初めは、簡単なゴールを決めましょう。例えば「買う商品を事前に数個決める」「買い物時間を短時間にする」「買い物リストの商品を探す」などです。また、簡単なルールを決めて、禁止事項でなくすべき行動を決めます。例えば「親の側にいる」「店内は歩く」「商品を触ってよいかを聞く」などです。

ルールは、事前に「家を出る時」「車の中」「店に入る前」など親子で確認し、ルールを守れたら、「としくん、ママの横を歩いているね」などとほめます。



つながる子育てアプリあさくらっこ
妊娠・出産、子育てまでサポート
アプリダウンロード▶▶▶



2月の催し

母子健康手帳交付

《市健康課》平日9時〜16時 **あさくらっこアプリ**で予約。
《杷木支所》13日(木)9時30分〜11時30分 電話で予約。
■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど



◀「親子健康カレンダー」に年間予定も掲載

子育て応援プログラム

※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。参加時には、母子健康手帳が必要です。**あさくらっこアプリ**で予約してください。

マタニティクラス(母親学級)

赤ちゃんとの生活について。
■日時…18日(火)9時30分〜12時 ※13日(木)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具

プレパママクラス(両親学級)

沐浴、妊婦体験など。
■日時…16日(日)9時15分〜12時 ※13日(木)までに要予約

もぐもぐ教室

離乳食を始める生後4〜6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。
■日時…20日(木)10時〜12時
※第2子以降の人は17日(月)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン、マスク、タオル

すくすく(育児)相談

子どもの成長、母乳、歯みがき、しつけ、トイレなど、ご相談ください。
■日時・場所…12日(水)10時〜11時30分/ピーポート甘木保健福祉センター
※母乳相談は別途フェイスタオル3枚必要。
■期日・場所…13日(木)/男女共同参画センターあすみん
※電話予約
【共通】■持ってくるもの…バスタオル1枚

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)

【甘木朝倉地域の人】 ■場所…ピーポート甘木保健福祉センター

対象	期日	時間
4カ月児(令和6年9月生)	4日(火)	12時45分〜
10カ月児(令和6年3月生)	5日(水)	
1歳6カ月児(令和5年7月生)	6日(木)	
3歳児(令和4年1月生)	7日(金)	

【杷木地域の人】 ■場所…男女共同参画センターあすみん

対象	日時
4カ月児(令和6年9・10月生)	13日(木)13時〜
10カ月児(令和6年3・4月生)	
1歳6カ月児(令和5年7・8月生)	
3歳児(令和4年1・2月生)	

☎市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。



- 【中央図書館】
おはなし会(幼児〜小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時〜
ぴよぴよおはなし会(0〜2歳児向け)
■日時…12日・19日(水)11時30分〜
- 【あさくら図書館】
あかちゃんおはなし会(0〜1歳児向け)
■日時…1日(土)11時〜
みんなのおはなし会(幼児〜小学生向け)
■日時…8日・15日・22日(土)11時〜
おひさまおはなし会(幼児〜小学生向け)
■日時…23日(日・祝)11時〜
- 【はき図書館】
わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…25日(火)11時〜

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしています。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

- 子育てほっとサロン「つどいの広場」
(堤1413)(☎080-6439-1851)
- 生い立ち地域子育て支援センター
(菩提寺606-1)(☎24-5203)
- ひろにわ地域子育て支援センター
(入地2607-1)(☎080-8352-4178)



▲つどいの広場



▲ひろにわ

Pick Up

親子で楽しくだっこびくす

ストレッチや軽いエクササイズ親子でのふれあい遊びを行います。先生自作のオルゴールや絵本の読み聞かせもあります。親子で癒しの時間を過ごしませんか?動きやすい格好でご参加ください。
■日時…12日(水)10時30分〜12時
■場所…ひろにわ保育所ホール
■講師…田中もと子さん(認定心理士・健康運動指導士・絵本セラピスト)



シリーズ 人権

このとりのゆりかご 母と子の幸せを願って

「このとりのゆりかご（赤ちゃんポスト）」は、親が何らかの理由で養育できない子どもを「匿名で緊急」に受け入れる施設であり、平成19年5月に、熊本市にある慈恵病院が病院内に設置し、運用を開始したものです。

この病院では、平成14年から、望まない妊娠に悩む女性のために、「赤ちゃんのための電話相談（現在は「SOS赤ちゃんとお母さんの妊娠相談）」を実施するなど、早くから胎児や子どもの命を守るための取り組みを行っていました。さらに、遺棄されて命を落とす新生児や人工妊娠中絶で失われていく命を救いたいという思いから、ドイツの取り組みなどを参考として、匿名で子どもを預かる施設「このとりのゆりかご」が設置されたのです。「小さいのちを救いたい」との思いから生まれたこの施設は、赤ちゃんとお母さんの将来の幸せのための相談を受けること、育てられない子どもを受け入れることを一体として運用されています。

昨年12月の人権週間に、うきは市で開催された講演会で講師を務めた宮津航一さんは、「ゆりかご」の開設初日に3歳でこの施設に預けられた人

です。その講演では、自分の命をつないでくれた「ゆりかご」への感謝の思いを語りました。遺棄や虐待などにより子どもが亡くなっている現状から、最後のセーフティネットとして「ゆりかご」の必要性と、法整備の早期実現を訴えました。

「ゆりかご」の設置から17年以上が経過し、令和5年度末までに179人の子どもの命が救われ、母子の孤立を防ぎ適切な支援につながっています。妊娠を誰にも相談できずに自宅出産（孤立出産）するなど、「ゆりかご」に匿名で子どもを預けなければならぬ状況を生む背景には、当事者を追いつめる社会環境という課題もあります。その課題を解消するためにも、望まない・予期しない妊娠であっても安心して相談できる体制をさらに充実させることが必要です。また、地域と社会で子どもたちを見守り、親と一緒に育てていく「大きなこのとりのゆりかご」ができたなら、「誰もが幸せに暮らせる社会の実現」につながっていくのではないのでしょうか。

問 市人権・同和対策課（☎521-1774）

今月の1枚 #あさくらいふ

FBS めんたいワイドの新コーナー「集まれ！EE 町なま自慢」で初笑い！

撮影日：令和7年1月7日 撮影場所：朝倉市秋月博物館

「集まれ！EE 町なま自慢」の初めての生中継が秋月博物館で行われました。朝倉に古くから伝わる「蒸し雑煮」を市民の皆さんや市職員でPR。たくさんの方の笑顔に包まれた中継で、にぎやかな新年の幕開けとなりました。



あなたの写真を掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力を見つかる、つながる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

- ① Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真
 - ② メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)で申込があった写真など
- ※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申してください。
※掲載する場合、ご連絡します。



広報文芸

俳句 (矢野俊一選)

米寿なを夢ささやかに初暦 日記買う三年五年と迷いけり
甘木 山下 藍 入地 鶴石ミヨ子

いつからを余生と言はむ冬帽子 初春や里の静寂に太鼓の音
甘木 仲山 尚山 宮野 赤尾 清

厨よりだし巻香り年を越す 春泥を飛び跳ね渡る登校児
甘木 吉澤 孝夫 杷木穂坂 飯田 松代

川柳 (お題「声」) (益永克之選)

若い頃と変わらぬ友の声便り 振り絞るチーム勝利の応援歌
下淵 桑野 照子 堤 篠原 明男

声を大に言いたい事は物価高 難聴の母は大声聞き交す
一木 田中 妙子 甘木 櫻木 浩子

掛け声に息を整え走り抜く ホーホケキョ梅にうぐいす春を待つ
杷木久喜宮 佐藤 敬二 入地 丸林美智子

【3月号は広報文芸の年間優秀作品を発表】

昨年4月号以降に掲載された作品の中から、俳句と川柳のそれぞれ5句が年間優秀作品として選ばれます。

※3月号の俳句・川柳は募集していません。



地域おこし協力隊通信

vol.36

赴任してもうすぐ1年

2024年5月から地域おこし協力隊として活動している西原です。赴任してまもなく1年。朝倉オートキャンプ場は8月に無事オープンし、順調にお客さまが増え、新たな人気キャンプ場になりつつあります。

私事ですが、プライベートでも朝倉市の環境にも慣れつつあり、多くの仲間にも恵まれ、充実したアウトドアライフを送っています。

朝倉オートキャンプ場は都市圏から近く、電源サイトを利用すれば暖房器具を使ったキャンプなど楽しめるため、週末は季節を問わず多くのお客さまにご来場いただいています。また、場内には多くの桜があり、3

地域おこし協力隊員 西原 淳平 さん

月になると一気に満開、桜の下でのキャンプやお花見パーベキューなども楽しめます。あまぎ水の文化村では桜の開花時期に合わせて「ライトアップあーさくら水灯桜」も開催予定で、桜づくしの一日を過ごすことができます。自然豊かなキャンプ場周辺は春から夏にかけて、登山や水遊びと最高の季節に。これからキャンプを始めたい人、興味がある人は、ぜひ一度朝倉オートキャンプ場に遊びに来てください。レンタル品も充実しているため、食材と飲み物だけ用意すれば手軽にアウトドアを楽しめます。お越しの際はぜひお声掛けください。

地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。



朝倉オートキャンプ場の魅力やイベント情報など発信する公式SNSです。ぜひフォローをお願いします。



▲季節に合わせて受付を自作でレイアウト。子どもたちに喜ばれました。



久喜宮保育所もぐらうち
地域の人たちとつなぐ伝統行事



1月15日、久喜宮保育所でもぐらうちが行われました。もぐらうちは地面をたたいてもぐらを追い払い、その年の豊作や無病息災を願う小正月の伝統行事です。

竹にわらを結ぶ光景に、子どもたちは興味津々でお手伝い。保護者や久喜宮コミュニティの役員、地域の人たちと一緒に、体の2倍ほどある竹竿を製作しました。

最後は竹竿を一生懸命に振りながら、「もぐらうちは14日～、だんだらがゆは15日～、のきだれこきだれうちまわせ～」とみんなで元気に歌い、「バシン！バシン！」と大きな音を鳴らして地面をたたきました。

朝倉市消防団出初式
消防活動の決意 新たに

1月12日、サンライズ杷木で消防団出初式が行われました。式典で山内団長は「消防団は市民の安全安心を守る重要な役割を持つ。今後も皆さんの協力をお願いします」と訓示。消防活動に貢献した人への表彰や、原鶴分水路で第16分団による放水演習も行われました。団員たちは郷土愛の精神に基づき、今後の消防活動に向けて気持ちを新たにしました。

仲間と支え合いながら努力し掴んだ栄誉
“よさこい”で気持ちを一つに



12月12日、よさこいチーム「美勝女隊」の朝倉市メンバーが市役所を訪れました。「美勝女隊」は、福岡県や佐賀県で活動するダンススクール「リトルクイーンズ」のよさこい部門で、未就学児から中高生までが在籍しています。10月18日～20日に行われた、西日本最大級のよさこいイベント「第26回YOSAKOIさせば祭り」では、大賞に輝きました。

朝倉市メンバーを代表する甘木中学校2年生の檜崎留唯さんは「みんなで教え合いながら楽しく頑張ってきました。先生や保護者の支えに心から感謝しています」と喜びを語りました。



朝倉高校史学部・天野商店で新たな朝倉みやげ
2月3日新発売！「秋月藩五万石かしわ」

朝高史学部と天野商店がタッグを組み、新商品「秋月藩五万石かしわ」を開発しました。「古処鶏」を100%使用したかしわ煮で、地鶏ならではの肉の締まりでタレとの相性も抜群。ご飯のお供にピッタリです。朝高史学部は商品名やパッケージデザインを担当。高級感のある仕上がりで、新しい「朝倉みやげ」として期待されます。



“朝倉を盛り上げる事業”
朝倉あきさんが朝倉にやってきた！

12月17日、テレビドラマなどで活躍している俳優で朝倉市親善大使でもある朝倉あきさんが、市役所を訪れました。

朝倉あきさんは朝倉商工会議所とタッグを組み、“朝倉を盛り上げる事業”として、朝倉をPRするポスターや動画撮影を市内で行いました。

表敬訪問で朝倉あきさんは「撮影の合間で朝倉の皆さんに声をかけていただきました。ひさしぶりに感じた皆さんの暖かさにうれしくなりました。たくさんの応援を力に、朝倉のPRを頑張ります！」と笑顔で話していました。

朝倉あきさんの今後のさらなる活躍に注目し、みんなで応援しましょう！



甘木鉄道の安全運行に努める
安全総点検を実施しました

交通機関に乘客や貨物が集中する年末年始は、ひとたび事故などが発生した場合、大きな被害となることが予想されます。甘木鉄道株式会社では、安全確保と事故防止の徹底のため、毎年12月中旬に「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施しています。

12月16日、同社の社長である林市長は、総点検最高責任者として甘木鉄道の安全状況の確認・点検を実施。林市長は、運行中の列車内や鉄道施設現場で、鉄道車両やレールなどの保守・整備のほか、乗務員の安全管理や事故・災害発生時の乗客の安全確保への備えを確認・点検しました。

今後も乗客・乗務員の安全確保に努めながら、甘木鉄道を運行します。



▲撮影で甘木駅を訪れていた朝倉あきさんと林市長

比良松中学校陸上部 マラソン世界記録に挑戦！！
バトンでつなぐ絆と伝統

12月28日、比良松中学校グラウンドで比良松中陸上部がマラソンの世界記録に挑戦しました。この挑戦は1周250mのグラウンドを169周するバトンリレーで行われ、陸上部員のほか、OB、保護者など総勢31人が参加。ガッツ溢れる走りで大いに盛り上がり、バトンは途切れることなく2時間13分51秒でゴールしました。世界記録2時間35秒には及びませんでしたが、絆が深まる42.195キロに。主将の富山颯真さんは「1人では走ることができない距離でも、みんなで力を合わせることで完走でき、最高の思い出となる1日になりました」と達成感に満ちていました。



▲最後は全員でゴール！

「朝倉と福岡をつなぐ架け橋に」



地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第39弾は、福岡大学のボランティアサークル災害復興架け橋隊の皆さんを取材しました。

Interview

災害復興架け橋隊
代表

め の め さ あ や
布目 紗彩さん

副代表

と う ま
坂口 透真さん

副代表

ほ く と
原田 北斗さん

平成23年に起きた東日本大震災の復興のために、福岡大学の学生課が企画した「東日本復興夏期セミナー」から誕生した大学公認サークル。「全力で活動し、全力で楽しむ」部員約80人が所属する。

(写真は杷木地域の農園にて)

「人の役に立ちたい」

災害復興架け橋隊は、平成23年の東日本大震災をきっかけに誕生したボランティアサークルです。食と体験を通じて、福岡と被災地をつなげる架け橋になるべく日々活動しています。メインの活動は災害ボランティアですが、現在は杷木地域で行う月一回の農業ボランティアが中心です。さつまいもや玉ねぎなどを栽培・収穫し、活動後は温泉に入ったり、朝倉産野菜で料理をしたりするなど朝倉を満喫しています。活動の際は、災害発生時の連携をスムーズにするために、部員や地域の人のつながりを大切にしています。

令和5年7月の大雨災害時には、杷木地域で土砂撤去や床下の泥水除去を、8月には久留米市で土水路づくりや土砂撤去を行いました。私たちは「人の役に立ちたい」との思いで入部しましたが、被災した人から実際に「助かった」と感謝の言葉をいただいた時には「人の役に立てた」と強く感じました。

災害を風化させないために

そのほかの活動として、大学が避難所として利用されることを想定した訓練を行いました。福岡市消防局や市民の皆さんと、避難所の運営、火や電気を使わない非常

食の提供などを訓練しました。

また、年に2回、福岡市六本松で、朝倉産の野菜や果物、加工品を販売する物産展を行っています。販売する商品は三連水車の里あさくらで選定し、出品者に直接連絡して仕入れています。オリジナル商品として「重松農園」と協働で、柿の葉茶も開発。物産展やボランティアで支援した「カフェのとり」で販売しました。

これらの活動は多くの人に防災意識を持ってもらい、九州北部豪雨の被害を風化させない、知ってもらいたいとの想いで行っています。

今後も架け橋として

活動を通じて、特に二つの「気づき」がありました。一つが困っている人を見かけたら自然に声がかけるようになったこと。もう一つがサークルの仲間と協力し支え合うことで困難を乗り越えられたこと。仲間と得た経験を生かし、卒業後は一人でも多くの人を支える職業に就きたいです。

私たちは被災した人を支援する立場でありながら、人の暖かさや勇気をもらいました。今後も、災害が起きないことを望みますが、「もしも」に備え私たちは活動を続けます。一人でも多くの人の支えとなり、架け橋となるために――。

災害復興架け橋隊～これまでの活動～



災害復興架け橋隊
公式 Instagram



朝倉市長への活動報告の様子
福岡大学公式 HP



▲(左から)坂口さん、布目さん、原田さん